平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月31日

上場会社名 ユタカフーズ株式会社　　上場取引所　東 名
コード番号 2806　URL http://www.yutakafoods.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 古里 親
問合せ先責任者　(役職名) 取締役総務部長　(氏名) 牧 清忠　TEL 0569-72-1231

四半期報告書提出予定日　平成26年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	16,997	3.6	1,067	15.5	1,159	15.6	711	14.4
25年3月期第3四半期	16,412	△5.9	924	△22.0	1,003	△20.4	622	△11.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	81.06	―
25年3月期第3四半期	70.86	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	22,354	19,337	86.5	2,201.99
25年3月期	21,870	18,943	86.6	2,157.09

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　19,337百万円　25年3月期　18,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	20.00	―	20.00	40.00
26年3月期	―	20.00	―		
26年3月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	0.1	1,250	2.8	1,350	3.0	820	1.0	93.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	無
②①以外の会計方針の変更	：	無
③会計上の見積りの変更	：	無
④修正再表示	：	無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	8,832,311 株	25年3月期	8,832,311 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	50,659 株	25年3月期	50,438 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	8,781,757 株	25年3月期3Q	8,781,941 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更)

当社の四半期財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期会計期間及び第1四半期累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前事業年度及び前第3四半期累計期間についても百万円単位に変更しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……2
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……2
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……2
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……2
３．継続企業の前提に関する重要事象等 ……2
４．四半期財務諸表 ……3
（１）四半期貸借対照表 ……3
（２）四半期損益計算書 ……4
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 ……5
(継続企業の前提に関する注記) ……5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) ……5
(セグメント情報等) ……5

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期累計期間におけるわが国経済は、ヨーロッパ経済の底打ちからの脱却やアメリカ経済の回復を示す量的緩和の縮小開始を示唆するコメントなど世界経済に明るい兆しが見受けられますが、円安の急激な進行・金利上昇の懸念など、依然として先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、景気回復による個人消費の盛り上がりへの期待感はあるものの、依然として雇用・所得環境は改善の兆しの途上であり、低価格競争の激化と円安による原材料価格及びエネルギーコストの上昇など厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当第３四半期累計期間の売上高は16,997百万円（前年同期比3.6％増）、営業利益は1,067百万円（前年同期比15.5％増）、経常利益は1,159百万円（前年同期比15.6％増）、四半期純利益は711百万円（前年同期比14.4％増）となりました。

セグメント別では、液体調味食品部門は、うなぎの稚魚（シラスウナギ）が連年の不漁に伴い、うなぎのたれの売上が苦戦したものの液体スープの売上が順調に推移し、売上高は2,901百万円（前年同期比30.3％増）、セグメント利益は264百万円（前年同期比196.6％増）となりました。

粉粒体食品部門は、機能性食品の受託が低調に推移し、売上高は3,304百万円（前年同期比3.5％減）、セグメント利益は、こだわりの焼きあごを使用した「だし取り職人シリーズ」の販売強化による販売促進費の増加にともない86百万円（前年同期比55.9％減）となりました。

チルド食品部門は、ゆで麺の新アイテムが好調に推移しましたが、既存品が低調に推移したため、売上高は2,655百万円（前年同期比0.1％減）、セグメント利益は237百万円（前年同期比7.6％減）となりました。

即席麺部門は、生産高が高水準にて推移し、売上高は6,554百万円（前年同期比4.9％増）、セグメント利益は456百万円（前年同期比25.2％増）となりました。

その他は、水産物の販売は順調に推移しましたが、その他商品の取扱が減少し、売上高は1,581百万円（前年同期比14.6％減）、セグメント利益は22百万円（前年同期比28.2％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

第３四半期会計期間末における資産の部は22,354百万円となり、前事業年度末と比べ483百万円増加しました。これは主に、流動資産の現金及び預金が231百万円、受取手形及び売掛金が132百万円増加したことによるものであります。

負債の部は3,017百万円となり、前事業年度末と比べ89百万円増加しました。これは主に、流動負債の賞与引当金が100百万円減少しましたが、買掛金が144百万円増加したことによるものであります。

純資産の部は19,337百万円となり、前事業年度末と比べ393百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が360百万円増加したことによるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年５月15日に発表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更ありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,446	5,678
受取手形及び売掛金	2,114	2,246
商品及び製品	423	445
仕掛品	28	15
原材料及び貯蔵品	285	382
関係会社短期貸付金	7,000	7,000
その他	150	93
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	15,440	15,853
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,174	2,074
機械及び装置（純額）	1,516	1,464
その他（純額）	973	1,154
有形固定資産合計	4,664	4,694
無形固定資産	46	45
投資その他の資産	1,720	1,762
固定資産合計	6,430	6,501
資産合計	21,870	22,354
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,441	1,585
未払法人税等	191	171
賞与引当金	160	59
役員賞与引当金	15	10
その他	446	472
流動負債合計	2,254	2,299
固定負債		
退職給付引当金	620	656
役員退職慰労引当金	52	61
固定負債合計	672	718
負債合計	2,927	3,017
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	16,512	16,873
自己株式	△64	△65
株主資本合計	18,768	19,128
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	174	208
評価・換算差額等合計	174	208
純資産合計	18,943	19,337
負債純資産合計	21,870	22,354

(2) 四半期損益計算書
第３四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第３四半期累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日)	当第３四半期累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日)
売上高	16,412	16,997
売上原価	14,765	15,165
売上総利益	1,646	1,832
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	207	216
賞与引当金繰入額	10	8
役員賞与引当金繰入額	11	10
退職給付費用	21	18
役員退職慰労引当金繰入額	7	9
貸倒引当金繰入額	0	0
その他	463	501
販売費及び一般管理費合計	722	764
営業利益	924	1,067
営業外収益		
受取利息	31	29
受取配当金	28	35
雑収入	25	33
営業外収益合計	85	97
営業外費用		
賃貸費用	6	5
雑支出	0	0
営業外費用合計	6	5
経常利益	1,003	1,159
特別利益		
固定資産売却益	－	0
特別利益合計	－	0
特別損失		
固定資産除売却損	1	17
特別損失合計	1	17
税引前四半期純利益	1,001	1,142
法人税、住民税及び事業税	350	400
法人税等調整額	28	30
法人税等合計	378	430
四半期純利益	622	711

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Ⅰ 前第３四半期累計期間(自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,226	3,425	2,658	6,250	14,560	1,851	16,412
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―	―
計	2,226	3,425	2,658	6,250	14,560	1,851	16,412
セグメント利益	89	195	257	364	906	17	924

(注) １ 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

２ セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第３四半期累計期間(自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,901	3,304	2,655	6,554	15,416	1,581	16,997
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―	―
計	2,901	3,304	2,655	6,554	15,416	1,581	16,997
セグメント利益	264	86	237	456	1,044	22	1,067

(注) １ 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

２ セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。